

TNC

通信

2022  
3月号

# 「日本語スピーチコンテスト」を開催!!

## 二県協会・青年委員会が企画、7人が発表



第一回となる日中友好オンライン日本語スピーチコンテストが2月20日14時から行われました。これは国交正常化50周年、宮城県吉林省友好都市締結35周年の意義を含め、県協会青年委員会が企画、実行したものです。富谷市日中の横山さん、吉澤さんが役員として推進してきました。また富谷市日中の会員をはじめ、多くの

方々が、Zoomオンラインの聴衆審査員として参加しました。更に宮城県国際政策課等からの協賛もあり、豪華な賞品が贈られました。

初めに県協会・水戸理事長のあいさつ、審査委員長・金井副会長、審査員の江幡相談役、鎌田青年委常任委員が紹介され、審査基準が発表されました。コンテストは別項の7人の発表者が“宮城県について思ったことや魅力、出来事等”をラインで発表し、一人一人のスピーチ後に、新沼青年委委員長が日本語で簡単な質問を行う形で進めました。

審査の結果、最優秀賞に「宮城が育んだ将来の夢」と題し、宮城の地で優秀な養豚を目指している、呂さんが選ばれました。聴衆賞には「宮城県での出会い」と題し、温かい人たちとの出会いを語った張さんが選ばれました。最後に木村青年委副委員長から御礼と今後の抱負の挨拶がありました。

視聴した皆さんからも「宮城の地で頑張っている姿に感動しました」「苦労しながらも大きな夢を持って挑戦している皆さんの声が聴け、大変素晴らしいコンテストでした」「諸準備にあたられた方々、ご苦労様でした」「大会が継続して開催されることを期待します」等、多くの声が寄せられました。

### 寅(トラ)の諺

「虎の威を借(か)る狐」—狐が虎の威勢をかりて威張ることから、権勢のあるものをかさに着て、勝手気ままにふるまう事の譬えであり、またそのように威張る人物の譬えである。(『戦国策』)

### 「民間外交は平和の砦」

副会長・安住稔幸

北京冬季オリンピックが20日に終了し、まもなくパラリンピックが始まります。全世界に感動をもたらし、私達に自信

と勇気を与えてくれました。その挑戦の姿は国家間のいざこざを乗り越えるだけのパワーがあります。

協会紙『日本と中国』10月号に「ピンポン外交から50年」という、孔鉉佑駐日中国大使の講演が掲載されていました。大使は「偶然の接触が、中米両国を隔てていた氷を一挙に溶かしたピンポン外交は、歴史的意義があるだけでなく、今も重要な示唆を与えています」と話されていました。

今の日本と中国の政府間の関係は、良好とは感じられません。しかし国民、否、世界市民の私たちの平和を願う行動が続く限り、憂えることはないと思います。それを証明してくれたのはピンポン外交であり、民間レベルのつながりなのです。

また今回のオリンピックで「団体戦のメダルはチーム皆で喜べて、個人で取るよりも何倍もうれしさがある」と言っていた選手がいました。一人一人の行動は大事ですが、私たちも皆と仲良く、和気あいあいと活動してまいりましょう。

### § § 発表者一覧 § §

- ① 張啓媛さん (石巻専修大学・江蘇省出身)
- ② 孫競沢さん (東北大学・遼寧省出身)
- ③ 彭淑娟さん (会社員・湖南省出身)
- ④ 呂官霖さん (宮城大学・四川省出身)
- ⑤ 朱雅倫さん (会社員・吉林省出身)
- ⑥ 宮地聖子さん(治療院施術士・吉林省出身)
- ⑦ 王雨さん (東北大学・河南省出身)

### 「論語と老子の言葉」(田口佳史著 だいわ文庫 814円)

サブタイトルが「うまくいかない」を抜け出す2つの思考法。著者によると、人生が上り坂でうまくいっているときは厳格・真面目な論語を読み、下り坂を感じる時は自由で自然な老子の思想にふれてみるとよいと。この二つの中国の思考法を“競争社会”“豊かさ”“女性の活躍”“老い”“人間関係”等10章で論じる。

例えば大河ドラマの渋沢一は『論語と算盤』を残すほど。「富と貴とは是れ人の欲する所なり。貧と賤とは、是れ人の悪む所なり」等々、分かりやすく説明してくれる。



学び、人づきあい、仕事、競争社会、老い...

§ 「50周年 私の想い」原稿募集中 §